

令和3年(2021) 県政記録 いしかわ



はじめに

令和3年は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年となりました。

こうした状況の中、県民の命と生活を守り、「安全で安心な石川」を取り戻すため、医療提供体制の確保をはじめとする感染防止対策と大きな打撃を受けた地域経済の再生にあらゆる手段を講じてきました。ご協力いただいた皆様方には心から感謝を申し上げます。

一方、57年ぶりに東京オリンピック・パラリンピックが開催され、県ゆかりの選手の皆様には様々な制約がある中でそれぞれ活躍され、大きな夢や感動を与えていただきました。大会では過去最多となる5名のメダリストが誕生し、それぞれのメダルが連覇や競技初など大変意義のあるメダルでした。

そして、新型コロナウイルスの影響を受けてきた中においても、本県の魅力に一層の磨きをかけるための取り組みを行ってきました。

平成13年の開園から20年の節目を迎えた金沢城公園では、復元の総仕上げともいえる二の丸御殿の復元整備に着手しました。

また、「能登の里山海」が世界農業遺産に認定されて10年を機に「世界農業遺産国際会議」を開催し、これまでの取り組みや成果、次の10年に向けた新たな取り組みなどを国内外に広く発信しました。

さらに、令和5年度末の北陸新幹線県内全線開業やのと里山海道の4車線化など、交流基盤の整備も着実に前進しました。

この県政記録は、こうした令和3年における県政の成果をまとめたものです。幅広くご活用いただき、県政に対してより一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



いしかわ県民ワクチン接種センター
(2021年7月4日撮影)

目次

令和3年県政の主な出来事	ページ
1月	2
2月	4
3月	6
4月	10
5月	12
6月	14
7月	16
8月	20
9月	22
10月	24
11月	26
12月	28
石川県民の歌	30

<表紙写真>
(上) 新県立図書館
(下) 世界農業遺産国際会議

1月の 主な出来事

- 7日 ●新型コロナウイルス感染症対策本部会議(ほか年内28回開催)
- 20日 ●いしかわ版里山づくりISOの認証(8月17日)
- 小坂2号 急傾斜地崩壊対策事業の完成
- 22日 ●北陸新幹線金沢・敦賀間工程・事業費管理連絡会議(4月26日、7月28日、10月28日)
- 23日 ●「冬の観能の夕べ」公演(30日、2月6日、27日、3月6日)
- 26日 ●「レジ袋等の使い捨てプラスチックの削減に関する協定」締結式
- 29日 ●ワクチン接種推進チームの設置
- アステナホールディングス(株)進出表明
- 小坂川1号谷 通常砂防事業の完成
- 30日 ●冬の誘客イベント(~2月27日)

新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催 (7日 ほか年内28回開催)



新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対応を協議するため、対策本部会議を7日に開催したほか、年内に28回開催しました。

北陸新幹線金沢・敦賀間工程・事業費管理連絡会議 (22日、4月26日、7月28日、10月28日)



北陸新幹線(金沢・敦賀間)の工事の進捗や事業費の執行の状況等について、建設主体の鉄道・運輸機構が沿線地方自治体等と定期的に共有し適切に管理する目的で、22日以降、4回会議を開催しました。

「レジ袋等の使い捨てプラスチックの削減に関する協定」締結式(26日)

本県では、平成19年度より、県内の小売事業者、(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議と県の3者で「マイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を締結し、平成21年度からは、スーパー・クリーニング店でレジ袋を有料化するなど、レジ袋の削減を積極的に推進してきました。

令和2年7月に、国がレジ袋の有料化を義務化したことを受け、これまでのレジ袋削減の取組に加え、新たにレジ袋以外の使い捨てプラスチックについても削減の取組を追加し、今回、52の事業者と協定を締結しました。



アステナホールディングス(株)進出表明(29日)

29日、東京に本社がある医薬品原料や化学品の製造・販売を手がけるイワキ(株)が、珠洲市への進出を表明しました。今回の進出は、東京本社の事業継続リスクを分散するため、本社機能の一部を珠洲市に移転し、事業継続機能を確立することを目的としています。

また、珠洲本社開設と同時に、社名をアステナホールディングス(株)に変更しました。



2月の 主な出来事

- 1日 ●「こころの健康センター」の電話相談体制の拡充
- いしかわ伝統工芸フェア2021(～28日)
- 5日 ●金沢城・兼六園四季物語の開催(～6日、12日～13日、19日～20日、26日～27日、3月27日～4月2日、7月2日～3日、9日～10日、11月6日～28日)
- 8日 ●第1回デジタル化推進本部会議
- 10日 ●石川県国民保護共同図上訓練
- 12日 ●『「飲食」「若者」感染拡大特別警報』を发出(～3月12日)
- 19日 ●新型コロナワクチンの先行接種開始
- 22日 ●石川県産材ロゴマーク完成の報告
- 23日 ●(株)ハイレゾ増設表明

いしかわ伝統工芸フェア 2021 (～28日)



2月1日から28日までの1カ月間、いしかわ伝統工芸フェア2021をオンライン及び首都圏アンテナショップを活用して開催しました。

専用ウェブサイトでは、およそ600点の展覧商品の販売を行ったほか、フェアアドバイザーの木村ふみさんによる石川県の伝統工芸の紹介動画を掲載しました。

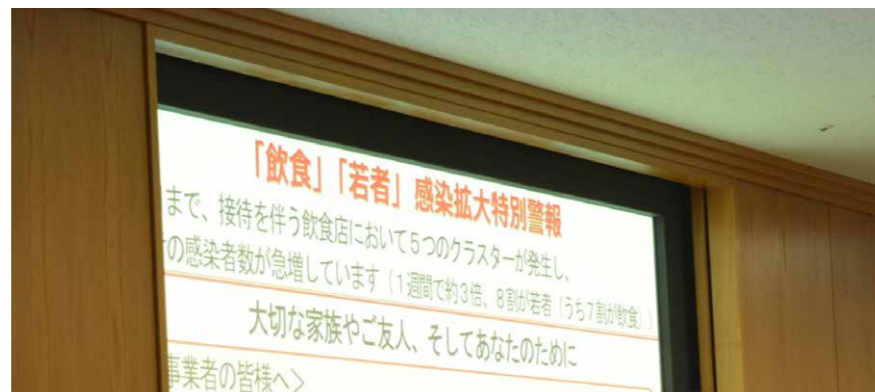
第1回デジタル化推進本部会議 (8日)

社会全体のデジタル化の推進が求められる中、本県においても、あらゆる分野のデジタル化に向けた取り組みを加速させ、部局横断で取り組むため、8日、第1回デジタル化推進本部会議を開催しました。



『「飲食」「若者」感染拡大特別警報』を发出 (12日～3月12日)

2月に入り、接待を伴う飲食店においてクラスターが相次いで発生し、若者の感染者数が急増したことを受け、12日に『「飲食」「若者」感染拡大特別警報』を发出し、県民・事業者の皆様に対して、感染防止対策の徹底を呼びかけました。



新型コロナワクチンの先行接種開始 (19日)



全国の国立病院等において、約1万人(最大2万人)の医療従事者にワクチンの先行接種が行われ、県内においても19日、地域医療機能推進機構金沢病院にて、ワクチンの接種が開始されました。

石川県産材ロゴマーク完成の報告 (22日)



石川県木材利用推進協議会の関係者が「石川県産材ロゴマーク」完成の報告のため、知事を訪問しました。

ロゴマークは、石川県産材のさらなる認知度向上と利用促進のため、石川県木材利用推進協議会が作成したもので、石川県の森林から生産された木材・木材製品であることを県の形と3本の木で表現しています。

また、3本の木は、「県産材を育てる人」、「県産材を加工する人」、「県産材を建物や家具などに利用する人」が連携して県産材を消費者に届けることを表しています。さらに、県産材を活用することによって育まれる豊かで健全な森林と木のイメージをグリーンとブラウンで表現しています。

(株)ハイレゾ増設表明 (23日)



画像処理やAIの分野で使用される、高い演算処理能力を持つ、GPUを活用したデータセンターの運営を行うハイレゾより、志賀町の能登中核工業団地内で第2データセンターを増設する旨の報告を受けました。

第2データセンターでは、約2万枚のGPUを導入し、今後増大することが予想される画像処理やAIの分野で、顧客に応じた演算処理を提供することを目的としています。

3月の 主な出来事

- 「いしかわ男女共同参画プラン2021」を策定
- 「石川県配偶者暴力防止及び被害者保護等に関する基本計画」を改定
- 石川県犯罪被害者等支援条例の制定
- 石川県が管理する港湾の臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例の制定
- 「金沢城二の丸御殿の復元整備に向けた基本方針」を策定
- 4日 ●村田機械(株)増設表明
- 5日 ●新型コロナワクチンの医療従事者への優先接種開始
- 10日 ●長谷川 通常砂防事業の完成
- 12日 ●柚の木 地すべり対策事業の完成
- 13日 ●いしかわ就職フェア(～14日、6月25日～26日)
- 14日 ●木場潟カヌー応援イベント
- 18日 ●いしかわ百万石文化祭2023基本構想の策定
- 19日 ●(株)大和増設表明
- 県民向け県内宿泊応援事業の開始
- 滝町3号 県単土石流対策事業の完成
- 20日 ●兼六駐車場第2期建設工事に着手
- 石川県発熱患者等受診・コロナワクチン副反応相談センターの設置
- 23日 ●共生社会づくりモデル地域コミュニティの認定
- 25日 ●石川県新型コロナウイルス感染症に係る差別的解消の推進に関する条例の制定
- 災害救助犬審査会
- 26日 ●平鍛造(株)増設表明
- 県立学校の校内高速通信ネットワークの整備完了
- 29日 ●石川県と第一生命保険株式会社との包括連携協定締結
- 30日 ●「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」女性活躍加速化クラス」認定証の交付(10月5日)
- 31日 ●石川県長寿社会プラン2021の策定

石川県が管理する港湾の臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例の制定

金沢港が持つ貨物・クルーズ・賑わいの機能を最大限に発揮させるため、港湾法に基づく分区条例を3月に制定しました。

これにより、例えばクルーズターミナルでは飲食や物販を伴う多彩なイベントの実施など、更なる賑わいの創出を図ることが可能となりました。

<概要>

- クルーズ港区 …… 無量寺ふ頭
- 漁港区 …… 水産ふ頭
- 商業港区 …… 戸水ふ頭、御供田ふ頭、大浜ふ頭
- 工業港区 …… 大浜ふ頭背後のコマツ金沢工場、戸水御供田ふ頭背後のセメントサイロ



村田機械(株)増設表明 (4日) (株)大和増設表明 (19日) 平鍛造(株)増設表明 (26日)

紡績機械の製造を手掛ける村田機械より、加賀市内で用地を取得し、工場を増設する旨の報告を受けました。世界的な紡績機械の需要の高まりに対応するため、工場棟を増設し生産能力を強化するとともに、加賀工場全体のレイアウト再構築を行い、生産性の向上を図ることを目的としています。

また、全国の介護施設や医療機関向け加工食品を製造する大和より、小松市内で用地を取得し、工場を増設する旨の報告を受けました。介護施設、医療機関向けに生産している長期保存が可能な冷凍総菜等の需要拡大に伴い生産能力の増強を図ることを目的としています。

さらに、建設機械や風力発電装置用ベアリング等の鍛造部品を製造する平鍛造より、羽咋市の自社敷地内に、工場を増設する旨の報告を受けました。同社が得意とする大型鍛造リングの製造技術を活かし、今後の市場拡大が見込まれる大型風力発電装置用ベアリング部品の増産体制の確立を図ることを目的としています。



村田機械(株)



(株)大和

いしかわ就職フェア (13日～14日、6月25日～26日)



13日、14日、6月25日、26日、それぞれ県産業展示館、本多の森庁舎で、大学生等の就職活動開始後に、県内企業の採用担当者等が学生に直接PRする「いしかわ就職フェア」を開催しました。

木場潟カヌー応援イベント (14日)

14日、カヌー日本代表の合宿拠点の木場潟で、東京2020オリンピック出場を決めている松下桃太郎選手に地元小松市のカヌークラブのメンバーらが応援メッセージを送りました。このほか松下選手のチームメイトなど、他の日本代表選手や事前合宿に訪れる海外のアスリートへのメッセージが多数寄せられました。

また、イベントでは、松下選手をはじめとしたトップアスリートの競技映像の上映や写真展示を行いました。



兼六駐車場第2期建設工事に着手 (20日)



20日、兼六駐車場の第2期建設工事に着手し、同日に起工式を開催しました。兼六駐車場は、兼六園下交差点に位置し、同交差点の拡幅整備と合わせて、老朽化のため建て替え工事を行っています。

建物は、5階建てで、外観は隣接する兼六園、金沢城公園と調和させるため、瓦や土壁を意識したグレーやベージュを基調とする外壁に格子を配し、金沢らしさを演出することとしており、令和5年春の施設全体の完成を目指して整備を進めています。



完成イメージ

4月の 主な出来事

- ツキノワグマ出没早期予測のためのドローンを活用したブナの開花調査(4月)
- 金沢城二の丸御殿復元整備事業に着手(4月)
- 1日 ●県の組織機構を改革(4月1日)
総務部
「デジタル推進課」を設置(「情報システム室」を改組)
県民文化スポーツ部
「国民文化祭準備室」を拡充
土木部
「金沢城二の丸御殿復元整備推進室」を設置
- 野村萬斎氏が県立音楽堂邦楽監督に就任
県立音楽堂開館20周年記念・野村萬斎邦楽監督就任記念公演(10月30日)
- 電動車いす登録制度の創設
電動車いす安全講習(7月6日、29日、9月9日、16日、10月12日、14日、15日、22日、27日、29日、11月2日、19日)
- 海外アンテナショップの開設(オンライン:~令和4年3月31日、実店舗:10月1日~令和4年1月31日)
- 新型コロナウイルス感染症経営改善支援特別融資の創設
- 経営力強化総合支援アドバイザー派遣制度の創設
- 能登ふるさと博の開催(~令和4年3月31日)
- 「加賀の國」広域観光イベント(~令和4年3月31日)
- 加賀百万石回遊ルート誘客の取り組み
SAMURAI PASSPORTの販売(~令和4年3月31日)
重ね捺しスタンプラリー(~令和4年3月31日)
光のイベント(ルート上でのイベント)(11月6日、7日、13日、14日)
- 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン(~11月30日)
- いしかわ里山振興ファンドの増資、助成メニューの拡充
- 2日 ●金沢港クルーズターミナル開館後初のクルーズ船(飛鳥II)寄港
- 3日 ●しいのき迎賓館入館者500万人達成記念セレモニー
●百万石まちなかめぐりさくら2021(~4日)
- 6日 ●交通安全県民運動(~15日、7月11日~20日、9月21日~30日、12月11日~20日)
- 13日 ●新型コロナワクチンの高齢者への優先接種開始
- 17日 ●いしかわ動物園「ふれあい体験館」オープン
- 28日 ●いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2021(~5月5日)
●石川県販路開拓強化支援事業

野村萬斎氏が県立音楽堂邦楽監督に就任(1日) 県立音楽堂開館20周年記念・野村萬斎邦楽監督 就任記念公演(10月30日)



県立音楽堂邦楽監督
野村萬斎氏

1日、県立音楽堂の新邦楽監督に狂言師の野村萬斎氏が就任しました。

また、10月30日には、県立音楽堂開館20周年と野村萬斎氏の邦楽監督就任を記念し、野村萬斎氏のほか、父で人間国宝の野村万作氏、子息の裕基氏との3代揃い踏みの公演を開催しました。



電動車いす登録制度の創設(1日)

電動車いすは免許制度や車検制度がなく、利用者を把握するのが困難であったため、全国で2例目となる「電動車いす登録制度」を創設し、登録者を対象に、安全講習を実施し、電動車いすの安全利用を図りました。



経営力強化総合支援アドバイザー派遣制度の創設(1日)

コロナ禍における企業の様々な経営課題に対応するため、回数制限及び自己負担なしで専門家を派遣する制度を創設しました。



アドバイザー派遣企業打ち合わせの様子

金沢港クルーズターミナル開館後初のクルーズ船(飛鳥II)寄港(2日)



2日、金沢港クルーズターミナルが開館して初めて大型客船「飛鳥II」が寄港しました。入港当日は、ミス加賀友禪、加賀友禪大使が艶やかな姿で金沢港クルーズターミナル降り立った来客を迎えました。



しいのき迎賓館入館者500万人達成記念セレモニー(3日)



3日、金沢市にあるしいのき迎賓館の入館者数が、平成22年4月10日の開館から累計で500万人に達し、記念セレモニーを行いました。

しいのき迎賓館は、旧県庁舎をリニューアルした建物で、正面は大正13年建築の格調ある意匠をそのままに、反対面は現代的なガラス張りの空間になっています。

当日は、知事と500万人目の入館者となった家族がくす玉を割り、達成を祝いました。また、知事から500万人目の入館者の家族に、記念品が贈呈されました。

いしかわ動物園「ふれあい体験館」オープン(17日)



17日、いしかわ動物園のふれあいひろばにおいて、天候に左右されることなく、ウサギやモルモット、インコといった動物とのふれあいが楽しめる「ふれあい体験館」がオープンしました。

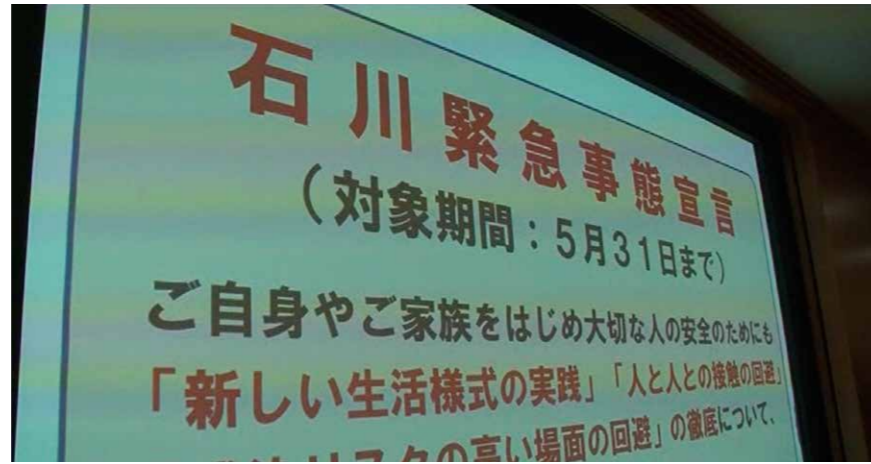
動物とのふれあい体験に加え、飼育係が日常行っている作業を、館内外からガラス越しにご覧いただくことができるほか、動物の成長過程を学べるパネルや、飼育道具の展示コーナーを設けています。



5月の 主な出来事

- 9日 ●「石川緊急事態宣言」を发出(～6月13日)
- 16日 ●「まん延防止等重点措置」の指定(～6月13日)
- 17日 ●工場・施設版環境ISO推進事業の公募(～7月30日)
- 20日 ●新分野・事業転換支援事業の開始
- 28日 ●いしかわ福祉施設相互応援ネットワークによる応援派遣(～6月14日)
- 30日 ●女性消防団員専門知識向上セミナー
- 31日 ●東京2020オリンピック聖火リレー(6月1日)
- 山本町1号 急傾斜地崩壊対策事業の完成
- 小江添沢 通常砂防事業の完成

「石川緊急事態宣言」を发出(9日～6月13日) 「まん延防止等重点措置」の指定(16日～6月13日)



大型連休直後に1日の新規感染者数が過去最高を記録するなど、感染状況が急激に悪化したことを受け、9日に国による「まん延防止等重点措置」の指定に先行して、「石川緊急事態宣言」を发出しました。

16日から6月13日には、「まん延防止等重点措置」の指定を受け、県民の皆様に対する外出自粛の要請や飲食店に対する営業時間短縮の要請など、人の流れを徹底的に抑制するため、様々な取り組みをお願いし、実践いただきました。

「石川緊急事態宣言」

○外出自粛の要請等

- ・不要不急の外出・移動の自粛
- ・感染対策が徹底されていない飲食店の利用、営業時間短縮の要請に応じていない飲食店等の利用を厳に控えること
- ・不要不急の都道府県間の移動は極力控えること
- ・路上・公園等における集団での飲酒など、感染リスクが高い行動は行わないこと
- ・医療機関・高齢者施設等における面会の自粛
- ・発熱等の症状がある人は、出勤、登校や社会活動の参加を控えること

○飲食店に対する営業時間短縮の要請等

○集客施設に対する営業時間短縮の要請等

○イベント開催制限の要請

○県有施設等の対応

- ・県有施設の臨時休園・休館
- ・文化施設などにおける県主催のイベントの中止・延期

○事業者への協力依頼

- ・出勤者数の削減
- ・可能な限りの20時以降の勤務の抑制
- ・時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組の強力な推進
- ・職場における感染防止のための取組や「三つの密」、感染リスクが高まる「5つの場面」等を避ける行動の徹底

東京2020オリンピック聖火リレー(金沢会場:31日、能登会場:6月1日)

東京2020オリンピック聖火リレーを31日に金沢城公園三の丸広場で、6月1日は和倉温泉湯つり公園で開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当初予定していた公道でのリレーが中止となり、代わりに聖火ランナーが、トーチにともした聖火を受け渡す「トーチキスリレー」として無観客(関係者を除く)で実施しました。

福井県から引き継いだ聖火は参加した約180人のランナーでつながれ、最後は聖火皿に灯されました。

<金沢会場>



<能登会場>



金沢会場最終ランナー 松本 薫さん



能登会場最終ランナー 若村 麻由美さん



6月の 主な出来事

●デジタル化実践道場の開講

- 2日 ●2棟目の宿泊療養施設の開設
- 14日 ●いしかわ新型コロナ対策認証制度の創設
- 16日 ●いしかわ耕稼塾開講式
- 18日 ●いしかわ県民ワクチン接種センターの設置(本格運用開始:7月4日~11月27日)
- 19日 ●オンラインを活用したUIターン合同企業説明会(7月17日、9月18日、10月9日、11月13日)
- 25日 ●いしかわ百万石文化祭2023実行委員会の設立
- 29日 ●白山火山防災訓練
- 「世界農業遺産国際会議2021」開催委員会第1回委員会の開催

デジタル化実践道場の開講 (6月~)

AI・IoTを理解し、自社での導入を検討できる人材を育成するため、平成30年度より、自社職場での活用を見据えて実践的に学ぶ「AI・IoT実践道場」を開講してきました。

デジタル化に関心を持つ層が広がる中、本年、名称を「デジタル化実践道場」とし、新たに座学による基礎コースを加え、デジタル化を目指す企業の裾野の拡大を図りました。



2棟目の宿泊療養施設の開設 (2日)



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、重症者や重症化のおそれがある方の入院医療に支障が生じないように、令和2年4月より軽症や無症状の方の宿泊療養施設を運用しています。

2日には、体制強化のため、2棟目の宿泊療養施設を開設しました。

いしかわ新型コロナ対策認証制度の創設 (14日)

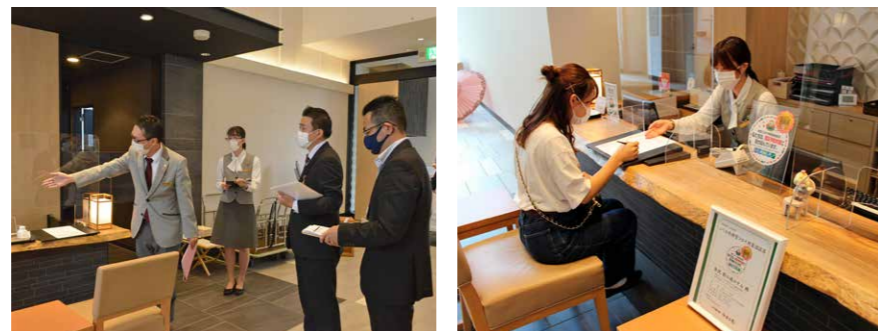
14日、飲食店・宿泊施設を対象に、感染防止対策の状況を実際に確認したうえで県が認証し、公表する第三者認証制度「いしかわ新型コロナ対策認証制度」を創設しました。

この制度は、飲食店や宿泊施設の感染防止対策を確認し、基準を満たす店舗等を認証することで、県民や観光客に安心してご利用いただくことを目的としています。



認証店に掲げられているステッカー

<現地確認調査の様子>



いしかわ県民ワクチン接種センターの設置

(18日(本格運用開始:7月4日~11月27日))



18日、県産業展示館4号館に若年層を対象とした大規模接種会場(いしかわ県民ワクチン接種センター)を設置し、7月4日に本格運用を開始しました。

その後、順次対象年齢を拡大し、11月末までに、約10万回、約5万人の方に接種を行いました。



オンラインを活用したUIターン合同企業説明会

(19日、7月17日、9月18日、10月9日、11月13日)



新型コロナウイルス感染症の影響により、都市圏において地方への移住に関心が高まっているこの機を捉え、UIターン希望者と県内企業とのマッチングを促進するため、オンライン会議システムを活用した合同企業説明会を実施しました。

「世界農業遺産国際会議2021」開催委員会第1回委員会の開催 (29日)

11月に能登で開催する世界農業遺産国際会議2021の本格的な準備に向けて、開催委員会第1回委員会を開催しました。



7月の 主な出来事

●早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」の開講(7月~12月)

- 1日 ●いしかわプレ妊活健診の開始
- いしかわ家庭版環境ISO「省エネ・節電アクションプラン」の実施(~9月30日)
- 県民向け県内旅行応援事業の開始(対象を隣県に拡大:12月15日)
- 3日 ●「観能の夕べ」(10日、17日、24日、31日、8月7日、14日、21日、28日)
- 4日 ●新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営研修(10日、25日)
- 5日 ●石川県経営持続月次支援金の創設
- 6日 ●いきいきシニアドライブ相談会(7月29日、9月9日、16日、10月12日、14日、15日、22日、27日、29日、11月2日、19日)
- 7日 ●シェイクアウトいしかわ(県民一斉防災訓練)
- 8日 ●東京オリンピック・パラリンピック県内事前合宿(オリンピック:~8月1日、パラリンピック:8月3日~29日)
- 19日 ●第11次石川県交通安全計画の策定
- 24日 ●主要地方道能都穴水線鹿波バイパス開通式
- 令和3年度全国高等学校総合体育大会(輝け君の汗と涙 北信越総体2021)(~8月24日)
- 26日 ●子ども消防学校(27日)

早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」の開講(7月~12月)



経営者のためのIoT/AI 総合力向上セミナー(7月)

近年、IoT/AIを実装する高付加価値製品が市場で求められており、こうした高度技術人材を育成するため、(株)小松製作所及び早稲田大学と連携し、7月から早稲田大学を代表校とするスマートエスイーIoT/AI石川スクールを開講しました。



技術者向け研修(10月)



新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営研修(4日、10日、25日)



金沢会場写真

新型コロナウイルス感染症の拡大が警戒される中、災害時の避難所における感染症対策が益々重要となっていることから、避難所での適切な感染症対策の注意点や作業内容について、実際に避難所を開設・運営する市町職員や自主防災組織の方々を対象に県内3会場で研修を実施しました。



能登会場写真



加賀会場写真

東京オリンピック・パラリンピック県内事前合宿(オリンピック:8日~8月1日、パラリンピック:8月3日~29日)

8日から8月1日にかけて6競技、延べ12カ国が県内5市町で県内合宿を実施し、東京オリンピックでは、5つの国で金5個、銀2個、銅3個、計10個のメダルを獲得しました。



<受入実績>

水泳:金沢市(フランス、ロシア)
 ウエイトリフティング:金沢市(フランス)
 カヌー:小松市(ニュージーランド、イギリス、フランス、スロベニア、ノルウェー)
 柔道:加賀市(ポルトガル)
 トランポリン:白山市(ポルトガル)
 テコンドー:穴水町(ロシア)、加賀市(ポルトガル)

さらに、8月3日から29日にかけて2競技、延べ7カ国が県内3市町で県内合宿を実施し、東京パラリンピックでは、5つの国で金7個、銀4個、銅7個、計18個のメダルを獲得しました。



<受入実績>

パラカヌー:小松市(イギリス、カナダ、フランス、ニュージーランド、ポルトガル)
 パラ水泳:金沢市(フランス)、志賀町(アゼルバイジャン)

主要地方道能都穴水線鹿波バイパス開通式(24日)



主要地方道能都穴水線は、能登町鶴川から穴水町比良に至る、地域の生活を支える道路です。このうち、穴水町鹿波地内は、現道の幅員が狭く、車両のすれ違いに支障をきたしていたことから、県では、山側の高台に迂回するバイパス整備に着手し、24日に開通式を行いました。

8月の 主な出来事

- 1日 ●いしかわパパ子育て応援キャンペーン(～11月30日)
- 七尾外環状道路起工式
- 2日 ●「まん延防止等重点措置」の指定(～9月30日)
- 3日 ●金沢城二の丸御殿復元整備専門委員会(12月23日)
- 14日 ●国際北陸工芸サミットin石川(～12月5日)
- 16日 ●パラリンピック聖火フェスティバル
- ルビーロマン及び加賀しずくフェア(ルビーロマンフェア:～9月12日、加賀しずくスイーツフェア:28日～9月5日)
- 21日 ●共生社会づくり県民フォーラム
- 23日 ●上田鍍金(株)増設表明
- 28日 ●備えて安心!いしかわ防災キャンペーン(～9月5日)
- 30日 ●東京五輪レスリング女子57キロ級金メダル川井梨紗子選手、レスリング女子62キロ級金メダル川井友香子選手に石川県県民栄誉賞を贈呈
- 川井梨紗子選手、川井友香子選手に石川県観光大使の委嘱状交付
- 31日 ●江津小谷 通常砂防事業の完成

金沢城二の丸御殿復元整備専門委員会 (第1回:3日、第2回:12月23日)



金沢城二の丸御殿の復元整備にあたり、各分野の専門家の指導や助言をいただきながら検討を進めるため、学識者等からなる「金沢城二の丸御殿復元整備専門委員会」を設置し、3日に第1回委員会、12月23日に第2回委員会を開催しました。



外観イメージ

国際北陸工芸サミット in 石川 (14日～12月5日)

平成29年に富山県を皮切りにスタートした一連の工芸サミットの最後を飾る形で、「国際北陸工芸サミット in 石川」を14日から本県で開催しました。サミットは、「生活の中で活かす工芸」をテーマとして、開幕式典やシンポジウム、展示会や伝統工芸品の展示販売会など、工芸の魅力を県内外に向けて広く発信しました。



シンポジウム



展示販売会



ブダペスト国立工芸美術館名品展

パラリンピック聖火フェスティバル (16日)



16日、パラリンピック聖火フェスティバルを開催しました。午前中、県内の特別支援学校9校で児童・生徒たちが「まいぎり」を使って採火を行い、午後からは、県産業展示館で集火・出立式を行い、石川県出身のパラリンピアン上村知佳さんが見守る中各学校で採火した火を集火皿に統合しました。

統合した火は、開催地の東京へ届けられ、全国で採火された火と統合し、パラリンピックの聖火となりました。



東京五輪レスリング女子57キロ級金メダル川井梨紗子選手、レスリング女子62キロ級金メダル川井友香子選手に石川県県民栄誉賞を贈呈 川井梨紗子選手、川井友香子選手に石川県観光大使の委嘱状交付 (30日)



30日、東京五輪レスリングフリースタイル女子57kg級で金メダルを獲得した川井梨紗子選手、レスリングフリースタイル女子62kg級で金メダルを獲得した川井友香子選手に対して石川県県民栄誉賞を贈呈しました。夏季オリンピックにおいて、姉妹での金メダル獲得は、日本勢初の快挙です。

姉の梨紗子選手には、2016年のリオデジャネイロオリンピックで金メダルを獲得した際にも県民栄誉賞を贈呈しており、今回が2度目の受賞となりました。

また同日、川井梨紗子選手、川井友香子選手に県観光大使の委嘱状を交付しました。



9月の 主な出来事

●石川県動物の愛護及び管理に関する条例の制定

1日 ●結婚支援事業にオンラインを活用
〔縁結びist〕によるお見合いをオンラインで実施:1日受付開始、婚活イベントをオンライン開催:11月21日)

●(株)フェローテックマテリアルテクノロジー増設表明

5日 ●石川県防災総合訓練

●いしかわ百万石文化祭2023会期等の決定

12日 ●県立音楽堂開館20周年記念式典

18日 ●かほく東西幹線道路(一般県道黒川横山線)Ⅱ期区間 起工式

26日 ●石川県障害者ふれあいフェスティバル

27日 ●松本薫氏に石川県観光大使の委嘱状交付

29日 ●東京パラリンピック男子車いすバスケットボール銀メダル宮島徹也選手に石川県スポーツ特別賞を贈呈

30日 ●東京パラリンピックボッチャBC3混合ペア銀メダル田中恵子選手、スポーツアシスタント田中孝子さんに石川県スポーツ特別賞を贈呈

●飲食・観光関連需要開拓緊急支援事業の開始

●石川県立図書館史料編さん室「加能史料」編さん事業完了

(株)フェローテックマテリアルテクノロジー 増設表明 (1日)



半導体製造装置のセラミックス部品を製造しているフェローテックマテリアルテクノロジーより、白山市の山島工業団地において工場を増設する旨の報告を受けました。

世界的な半導体需要の高まりに合わせ、半導体製造装置用セラミックス部品の需要も高まっており、これらのニーズに応えるため供給能力を向上させることを目的としています。

県立音楽堂開館 20 周年記念式典 (12日)

平成 13 年 9 月に開館した県立音楽堂が 20 周年を迎えたことを記念し、12 日、「石川県立音楽堂開館 20 周年記念式典」を開催しました。式典では、これまで県立音楽堂の振興・発展に貢献した方に対して、特別功労者の表彰、及び知事感謝状の贈呈を行ったほか、世界的に活躍する指揮者の山田和樹氏を迎え、オーケストラ・アンサンブル金沢と仙台フィルハーモニー管弦楽団によるコンサートを行いました。



かほく東西幹線道路 (一般県道黒川横山線) Ⅱ期区間起工式 (18日)



多くの企業や工場へのアクセスが向上し、物流の効率化が図られるなど、人やモノの交流がより一層拡大することが期待されます。

18日、かほく東西幹線道路(一般県道黒川横山線)Ⅱ期区間の起工式を開催しました。

今回の整備により、国道159号と河北縦断道路が東西につながることで新たな幹線道路網が形成され、かほく市内の交流が促進されるほか、周辺に立地する多

松本薫氏に石川県観光大使の委嘱状交付 (27日)

27日、石川県出身で、ロンドン五輪女子柔道金メダリストの松本薫氏に、知事から県観光大使の委嘱状を交付しました。



東京パラリンピック男子車いすバスケットボール銀メダル宮島徹也選手に 石川県スポーツ特別賞を贈呈 (29日)

29日、東京パラリンピック男子車いすバスケットボールで銀メダルを獲得した宮島徹也選手へ、石川県スポーツ特別賞を贈呈しました。同競技での銀メダル獲得は、男女通じて初めての快挙となります。

2008年の北京大会から4大会連続でパラリンピックに出場した宮島選手は、豊富な経験と献身的な守備で、メダル獲得に大きく貢献しました。



東京パラリンピックボッチャ BC3 混合ペア銀メダル田中恵子選手、 スポーツアシスタント田中孝子さんに石川県スポーツ特別賞を贈呈 (30日)

30日、東京パラリンピックボッチャ BC3 混合ペアで銀メダルを獲得した田中恵子選手と、スポーツアシスタントで恵子選手の母である田中孝子さんに、石川県スポーツ特別賞を贈呈しました。BC3 クラスでのメダル獲得は、日本初の快挙です。

田中恵子選手は、常に笑顔絶やさずことなく、的確かつ安定した投球で、メダル獲得に大きく貢献しました。



10月の 主な出来事

- 「不法投棄等防止強化月間(10月)」において隣県と連携した取り組みを実施
- 1日 ●AIを活用したネット上のコロナ差別モニタリングを開始
- 高齢者等の避難の実効性確保のための研修会
- 西部緑地公園の再整備推進(プロジェクトチームの設置)
- 石川県と大塚製薬株式会社との包括連携協定締結
- 6日 ●石川県新型コロナウイルス感染症対策 専門家会議及び中間提言の提出(専門家会議:6日、27日、中間提言の提出:11月10日)
- 9日 ●国立工芸館石川移転開館1周年記念展(~12月12日)
- 金沢城調査研究所設立20周年記念金沢城スペシャルガイドツアー(~11月20日)
- 金沢城発掘展「モノで巡る金沢城」(~11月21日)
- 13日 ●食品王国いしかわ百万石マルシェ
- 世界農業遺産10周年記念フォーラム(14日)
- 15日 ●白山南竜々馬場公衆トイレの完成
- 16日 ●木場潟公園東園地の起工式
- 17日 ●「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」に各種事業を実施(~11月3日)
- 22日 ●いっばい食べよう!いしかわのお米キャンペーン(~令和4年2月20日)
- 23日 ●金沢城調査研究所設立20周年記念式典・シンポジウム「金沢城調査研究20年の歩みとこれから」
- 第68回日本伝統工芸展金沢展(~11月3日)
- 24日 ●北陸新幹線新駅舎工事現場見学会(11月28日)
- いしかわ食のてんこもりフェスタ2021テイクアウト
- 30日 ●小松空港開港60周年記念フェスタ
- 31日 ●親子で一緒にオリパラスポーツを体験しよう!
- 石川県立図書館(金沢市本多町)閉館

石川県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議及び中間提言の提出

(専門家会議:6日、27日、中間提言の提出:11月10日)

県の新型コロナウイルス感染症の医療提供体制や検査体制を検証し、今後の対応への助言をいただくため、専門家会議を開催しました。11月10日には、一斉検査の早期実施、病床の確保、自宅療養体制の強化など、当会議の結果を取りまとめた中間提言を知事に提出しました。



木場潟公園東園地の起工式(16日)

16日、木場潟公園東園地の起工式を行いました。東園地は、世界的なものづくり企業である(株)小松製作所の協力を得て、「学び」、「遊び」、「体験」ができる、「新たな里山再生のモデル」となる公園に整備することとしています。

具体的には、カフェや研修スペースを備えた「里山交流ハウス」、野菜や花の収穫体験ができる「農業体験ハウス」、園内の間伐材を再資源化する過程を学べる「里山資源再生ハウス」(すべて仮称)のほか、展望デッキや樹木遊具などを、令和5年春の供用を目指して整備していきます。



里山交流ハウス(イメージ)



内部(イメージ)

いっばい食べよう!いしかわのお米キャンペーン(22日~令和4年2月20日)

新型コロナウイルス感染症の影響等により、米の需要が減少していることから、本県の主力米である「ひやくまん穀」や「コシヒカリ」、「ゆめみづほ」等の新米が出揃う10月から、飲食店、小売店等において、県産米の消費拡大キャンペーンを実施しました。



北陸新幹線新駅舎工事現場見学会(24日、11月28日)



加賀温泉駅



小松駅

北陸新幹線県内全線開業が間近に迫っていることを実感してもらい、開業に向けた気運の醸成を図るため、新たに開設される2つの駅(加賀温泉駅、小松駅)で工事現場見学会を開催しました。

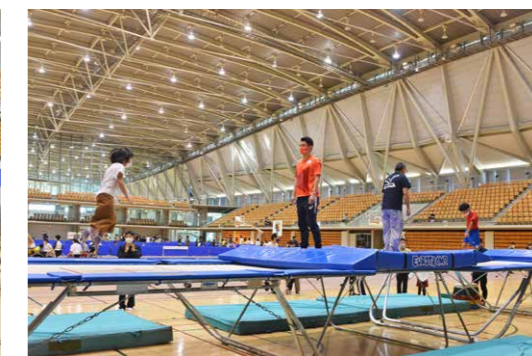
小松空港開港60周年記念フェスタ(30日)



30日、小松空港開港60周年記念フェスタを開催しました。フェスタでは、開港60周年を記念した「小松空港思い出フォトコンテスト」の入賞者に対し、知事から賞状を渡したほか、市内の園児による演奏の披露、親子航空教室、元航空管制官によるトークショーが行われました。

親子で一緒にオリパラスポーツを体験しよう!!(31日)

31日、いしかわ総合スポーツセンターで「親子で一緒にオリパラスポーツを体験しよう!!」を開催しました。当日は、トランポリン、車いすバスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカー®など、東京オリンピック・パラリンピックで盛り上がった競技を体験しにたくさんの親子が参加しました。イベントでは3×3プロバスケットボールチーム、ZETHREE.EXEと県選抜チームによる3×3バスケットボールエキシビジョンマッチを行ったほか、東京オリンピックに出場したトランポリンの岸大貴選手や、ウエイトリフティングの八木かなえ選手が、それぞれのブースで参加者に競技の魅力のPRをしました。



INTERNATIONAL CONFERENCE ON G I A H S N O T O 2021 世界農業遺産国際会議 2021

「能登の里山里海」が2011（平成23）年6月に日本で初めて世界農業遺産に認定されてから10年の節目を迎えることを記念して、認定地域である石川県能登地域において、11月25日から27日までの3日間、世界農業遺産国際会議2021を開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、海外からはオンラインでの登壇となりましたが、国際機関や各国の世界農業遺産認定地域の代表者などが一堂に会し、認定から10周年を迎えた「能登の里山里海」のこれまでの取組や成果に加え、世界農業遺産の有する価値を世界に向けて発信しました。

また、ハイレベルセッションや分科会などの議論をふまえ、認定地域間の連携促進や認定を目指す開発途上国の地域への支援などを求める「能登コミュニケ2021」を採択しました。



「能登コミュニケ2021」採択を祝して、主催者の代表がフォトセッションを行いました。

開会式 (25日)

開会式では、主催者による挨拶の後、谷本知事が基調講演を行い、世界農業遺産認定後10年の取組と成果を発信しました。



ハイレベルセッション (25日)、分科会 (25日～26日)

ハイレベルセッションでは、世界農業遺産の取組が世界的な課題の解決に果たす役割について議論が行われるとともに、分科会では、「経済」「社会」「環境」の3つのテーマについて、認定地域の関係者らが事例発表等を行いました。



<ハイレベルセッション>



<分科会>

記念シンポジウム (26日)

「世界農業遺産認定後10年の取組と成果、今後の展望」をテーマに、講演やパネルディスカッションを行い、世界農業遺産を次の世代に引き継いでいくことの大切さについて理解を深めました。



エクスカーション (27日)

「能登の里山里海」の各地域の農林水産業と文化を紹介するとともに、その魅力を直に感じてもらうエクスカーションを行いました。



11月の 主な出来事

- 児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン
- 1日 ●ワクチン・検査パッケージに関する技術実証の実施(～7日)
- いしかわパープルリボンキャンペーン2021(～30日)
- いしかわ就活スマートナビの運用開始
- 水産ふ頭に金沢港ライトアップ拡充
- いしかわ教育ウィーク(～7日)
- 2日 ●ホクト商事(株)の進出表明
- 3日 ●金沢競馬で8年ぶり2度目のJBC競走
- 6日 ●百万石まちなかめぐりもみじ2021(～7日)
- 8日 ●金沢芸妓の舞(～令和4年3月23日)
- 11日 ●アパレル産業連絡懇談会(～12日)
- 14日 ●子育て支援メッセいしかわ2021
- 15日 ●七尾警察署新庁舎完成(竣工式:15日、業務開始:29日)
- 17日 ●いしかわ百万石文化祭2023大会ロゴマークの発表
- 21日 ●高松病院管理診療棟改築第2期工事の完成、名称を「石川県立こころの病院」に変更
- 一般国道249号黒島道路完成式
- 22日 ●東京オリンピック女子バスケットボール銀メダル赤穂ひまわり選手に石川県スポーツ特別賞を贈呈
- 赤穂ひまわり選手に石川県観光大使の委嘱状交付
- 23日 ●石川県原子力防災訓練
- いしかわジュニアアートステージ2021(白山公演:11月23日、金沢公演:12月6日～12日)
- 25日 ●世界農業遺産国際会議2021(～27日)
- 28日 ●被害者支援県民フォーラム2021
- 一般国道249号輪島バイパス(宅田町～小伊勢町間)起工式
- 30日 ●農業用ため池の崩落に伴う県内全ての農業用ため池の緊急点検(～12月13日)
- 真浦2号 急傾斜地崩壊対策事業の完成

いしかわ就活スマートナビの運用開始 (1日)

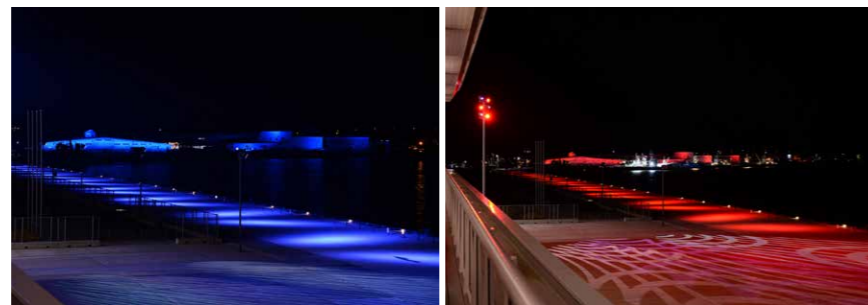


県内企業の人材確保の支援及び学生の県内就職を促進するため、石川県での就職活動を応援するスマートフォンアプリ「いしかわ就活スマートナビ」の運用を1日から開始しました。

アプリには、学生の情報収集を支援する「みる」機能、学生の就職活動を支援する「する」機能、就職イベントに参加するとポイントがたまる電子マネーカード「ふるさと石川就職学生カード (ISica)」と結びつけた「たまる」機能の3つの機能がついています。

水産ふ頭に金沢港ライトアップ拡充 (1日)

令和2年7月から開始している金沢港ライトアップについて、より港内全体を包み込むような演出となるよう1日から水産ふ頭にライトアップを拡充しました。



ホクト商事(株)の進出表明 (2日)



2日、愛知県に本社を置く、食品原材料から精密機械まで幅広い商品を取り扱うホクト商事(株)が本県への進出を表明しました。

志賀町内への製造工場の新設を予定しており、食料の安定供給や新しい食材開発を目的としています。



金沢競馬で8年ぶり2度目のJBC競走開催 (3日)



地方競馬最大規模(最高賞金)の「ダート競馬の祭典」であるJBC競走を3日、金沢競馬場で開催しました。金沢での開催は平成25年以来8年ぶり2度目であり、売り上げは、金沢競馬場の1日売得額記録を更新しました。

また、JBCクラシックでは、地元金沢所属の吉原寛人騎手が騎乗したミューチャリー号が、地方所属馬として初の優勝を果たしました。

七尾警察署新庁舎完成 (竣工式:15日、業務開始:29日)

旧庁舎の老朽化に伴い令和2年度より建設を進めていた七尾警察署の新庁舎が完成し、15日に竣工式を行い、29日より新庁舎での業務を開始しました。

庁内は、すべての人が利用しやすいようユニバーサルデザインを採用するほか、72時間連続稼働が可能な非常用自家発電設備や、最大3日間の貯水が可能な受水槽を設置し、災害時の防災活動拠点としての機能を確保しています。



内観



エントランス

いしかわ百万石文化祭 2023 大会ロゴマークの発表 (17日)

17日、いしかわ百万石文化祭 2023 大会ロゴマークを発表しました。

ロゴマークは、百万石の「百」と「100」の字をモチーフに、伝統工芸の漆器や金箔をイメージした赤と金で石川らしさを表現しています。

また、上に向かうループの形状は、さまざまな伝統や文化が次世代へ継承、発展していく様子をイメージしています。



高松病院管理診療棟改築第2期工事の完成 名称を「石川県立こころの病院」に変更 (21日)

21日、県立高松病院の管理診療棟改築第2期工事完成式を行うとともに、精神科医療の中核病院であることをわかりやすく示すため、病院名を「石川県立こころの病院」に変更しました。

現在の管理診療棟は築50年以上がたっており、建物の老朽化が著しいことから、令和元年度から建て替え工事を進めています。第1期工事で整備したりハビリ・検査部門に加え、今回の第2期工事で、外来や医局が入る診療棟が完成しました。

今後第3期、第4期の工事を進め、工事全体の完成は令和5年度になる見込みです。



一般国道 249 号黒島道路完成式 (21日)

一般国道 249 号は、七尾市を起点として能登半島を周遊する幹線道路であり、能登地域の観光や経済、そして沿線住民の生活を支える道路として極めて重要な路線であります。

このうち、輪島市門前町黒島町地内は、歩道がなく、急カーブで幅員が狭いため、大型車が対向車線にはみ出すおそれがあるなど、安全性が十分に確保されていないことから、平成 26 年度より歩道の新設と道路の拡幅整備に取り組み、21日に完成式を開催しました。



東京オリンピック女子バスケットボール銀メダル赤穂ひまわり選手に 石川県スポーツ特別賞を贈呈 赤穂ひまわり選手に石川県観光大使の委嘱状交付 (22日)

22日、東京オリンピック女子バスケットボールで銀メダルを獲得した赤穂ひまわり選手へ、石川県スポーツ特別賞を贈呈しました。同競技でのメダル獲得は、男女を通じて日本初の快挙です。

東京オリンピックで赤穂選手は、全試合に先発出場し、準決勝のフランス戦ではチーム最多得点を記録するなど、銀メダル獲得に大きく貢献しました。

また同日、赤穂ひまわり選手に県観光大使の委嘱状を交付しました。



一般国道 249 号輪島バイパス(宅田町～小伊勢町間)起工式 (28日)

28日、一般国道 249 号輪島バイパス(宅田町～小伊勢町間)の起工式を開催しました。

一般国道 249 号は能登地域の生活、産業、観光を支える幹線道路であるとともに、緊急輸送道路として防災面においても重要な道路です。輪島バイパスについては、輪島市街地の交通混雑の解消や地域住民の安全安心の確保のため、市街地を迂回するバイパス整備を進めており、これまでに輪島市久手川町から宅田町間の 2.0km を供用しています。引き続き、宅田町から小伊勢町間についても、整備を進めていくこととしています。



12月の 主な出来事

●新県立図書館建物の完成 新県立図書館建物見学ツアーの 開催(18日、19日、25日、26日)

1日 ●「ジャパニーズビューティ北陸」
キャンペーンの開催(～令和4年
3月31日)

4日 ●金沢港クルーズターミナル入館
者100万人達成記念セレモニー

●金沢城二の丸御殿埋蔵文化財調
査の現地説明会

5日 ●のと里山海道4車線化(上棚ゆずり
りレーン南伸)完成式

●都市計画道路本町線 完成を祝
う会

6日 ●いしかわエコデザイン賞の贈賞

10日 ●名ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業
の完成

17日 ●いしかわミュージックアカデミー
「IMAライジングスター・オンライ
ンコンサート」の配信

18日 ●第35回世界トランポリン競技選
手権大会女子団体競技金メダル
森ひかる選手、高木裕美選手、佐
竹玲奈選手、太村成見選手に石川
県スポーツ特別賞を贈呈

20日 ●エコフェスいしかわinWebの開催
(～令和4年2月28日)

21日 ●石川県交通安全県民大会の開催

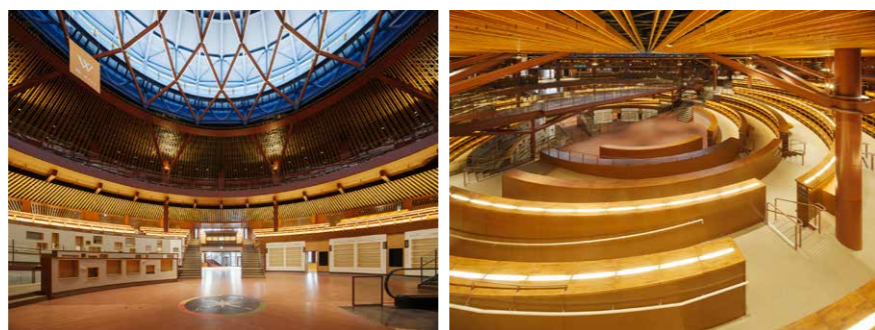
22日 ●ワクチン・検査パッケージに係る
検査無料化の開始

27日 ●いしかわ百万石文化祭2023 2
年前プレイベントの開催

●北陸新幹線県内全線開業に向け
た先導的プロジェクトの採択

新県立図書館建物本体の完成 (建物見学ツアー：18日、19日、25日、26日)

開館準備を進めている新県立図書館の建物本体が、12月に完成しました。また、開館に向けた機運を高めるため、建物本体の完成に合わせ、18日からの週末4日間にわたり、建物見学ツアーを開催しました。



金沢港クルーズターミナル入館者 100 万人達成 記念セレモニー (4日)



金沢港クルーズターミナルの入館者が、4日に100万人に達し、記念セレモニーを行いました。当日は、知事と100万人目の入館者となったご家族がくす玉を割り、達成を祝いました。

のと里山海道4車線化(上棚ゆずりレーン南伸)完成式(5日)



5日、のと里山海道4車線化(上棚ゆずりレーン南伸)完成式が行われました。

柳田IC以北の2車線区間では、速度低下や渋滞が発生していることから、平成27年度より柳田ICから上棚矢駄IC間の4車線化事業に取り組んでいます。このうち、のと里山海道で最長となる上棚地内のゆずりレーンを南側に延伸させ、新たに1kmの区間が完成しました。

残る区間についても、能登と金沢のアクセス向上による人やものの交流拡大を図るため、整備を進めています。

第35回世界トランポリン競技選手権大会女子団体競技金メダル森ひかる選手、高木裕美選手、佐竹玲奈選手、太村成見選手に石川県スポーツ特別賞を贈呈(18日)

18日、世界トランポリン競技選手権大会女子団体で金メダルを獲得した森ひかる選手・高木裕美選手・佐竹玲奈選手・太村成見選手へ、石川県スポーツ特別賞を贈呈しました。同種目で日本勢は、初優勝した前回2019年大会に続いて、2連覇を達成しました。2連覇は男女を通じて日本トランポリン史上初の快挙です。

また、4名ともに本県ゆかりの選手であり、まさに「トランポリン王国・いしかわ」の総力が発揮された金メダル獲得です。



いしかわ百万石文化祭2023 2年前プレイベントの開催(27日)

27日、いしかわ百万石文化祭2023の2年前プレイベントを、県立音楽堂邦楽ホールで開催しました。大会のスペシャルアンバサダーである狂言師野村萬斎さんと石川県出身の女優田中美里さんのトークショーのほか、御陣乗太鼓、左手のピアニスト、民謡歌手による、和と洋のステージが披露されました。



石川県民の歌

行進曲風に

梅木宗一 作詞
窪田新一 作曲

16 *mf*

は く さ ー ん ー に ー あ さ ひ は

は え ー て ー あ お ぐ も ー の ー は れ

mp

ゆ く と こ ー ろ ー な に か お る

れ き し を つ ぎ て む す ば れ し ー わ れ ら け ん み ん

cresc *f*

や く し ん の ー は た を か ざ し て お お わ が

い し か わ ふ る い お こ さ ん ー

<p>三、</p> <p>日本海 希望の日 いでゆわき この国土 人の和に おおわが石川</p>	<p>二、</p> <p>加賀平野 海山の うちつどう 工芸の はるかなる おおわが石川</p>	<p>一、</p> <p>白山に 青雲の 名にかおる むすばれし 躍進の おおわが石川</p>
<p>北にひらけて 明けゆくところ 地はゆたかなり いよ栄えて 世界を結ぶ 歌いたたえん</p>	<p>能登半島に さち呼ぶところ ちまたに野辺に 花咲きにおい 稲田はみのる ひらきのぼさん</p>	<p>朝日ははえて はれゆくところ 歴史をつぎて われら県民 旗をかざして ふるいおこさん</p>

(昭和34年11月3日制定)



石川県旗
(昭和47年10月1日制定)

「石川」の文字と石川の地形をデザイン化したものです。地色の青は、日本海と豊かな緑・清い水・澄んだ空気という石川の恵まれた自然環境を表しています。



郷土の花 クロクロリ
(昭和29年3月19日)

NHKが「郷土の花」として選んだもの。白山の弥陀ヶ原、室堂平（標高2,300~2,500メートル）付近に多く自生しています。風雪に耐えて咲くかげんな姿は、広く県民から親しまれています。



県鳥 イヌワシ
(昭和40年1月1日指定)

白山連峰に生息する日本最大級のワシで、英語でジャパニーズ・ゴールデン・イーグルと呼ばれています。翼を広げると2メートルにもなる雄々しい姿と勇猛果敢な性格は、ますます躍進する石川県を象徴しています。
撮影：須藤一成



県の木 あて
(昭和41年10月1日指定)

緑の環境づくりと木を愛する心を広めようと、県民のみさなから募集して決めました。能登地方に多く生育するヒノキアスナロで、北陸地方では「あて」と呼んでいます。家具や建築材、輪島塗の素材にも多く使われています。

令和3年(2021)県政記録いしかわ

発行 令和4年3月

発行者 石川県広報広聴室
〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
電話 076 (225) 1362

石川県ホームページ内
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/kouhou/kenseikiroku/index.html>

2021

県政記録いしかわ

